

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行います。  
受講希望者は、下記の連絡先までお問い合わせください。

## 記

講師: 日本大学 歯学部 歯学科 歯科保存学2 教授  
武市 収 先生

演題: 根尖性歯周炎の病因と Epstein-Barr ウイルス感染

日時: 令和4年2月17日(木)17:00~20:00

場所: Zoomによる遠隔講義

抄録:根尖性歯周炎は口腔内常在菌の混合感染によって惹起され、治療法として根管内細菌などを除去する、いわゆる感染根管治療が行われます。しかし、根管治療を行っても治癒せず、歯内外科療法や抜歯が選択されることも少なくありません。このような症例においては、感染した細菌以外の要因が関与する可能性が示唆されます。Epstein-Barr ウイルス(EBV)はヒトヘルペスウイルスの一種であり、感染しても直ちに病原性を発揮しませんが、再活性化することによって炎症メディエーターの発現を誘導することから根尖病変を難治化させている可能性があります。本講義では、EBV 感染が根尖性歯周炎に及ぼす影響について解説します。

連絡先: 川島 伸之 (歯髄生物学分野 内線 5494)

e-mail: kawashima.n.endo@tmd.ac.jp